

メーリングリスト [chouki] における議論

| No. | 月/日 | 発信者 | 頁 | 内容 |
|------|-------|---------|-----|-----------------------------|
| 2658 | 12/21 | 事務局（上野） | 1-2 | [Redacted] |
| 2660 | 1/11 | 事務局（上野） | 2 | 長期評価結果一覧の説明文の追加について |
| 2665 | 2/2 | 事務局（重野） | 2-3 | 海城活断層の長期評価の当面の進め方及び情報発信について |

[chouki(2658)] [Redacted]
 [Redacted]
 投稿：事務局（上野）

長期評価部会 委員各位

お世話になります。
 文部科学省地震・防災研究課の上野です。

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[chouki(2660)] 【機密性 2 情報】長期評価結果一覧の説明文の追加について

投稿：事務局（上野）

長期評価部会委員の皆様

お世話になります。

文部科学省地震・防災研究課の上野です。

1月15日の地震調査委員会時には、長期評価の年次更新の公表を予定しておりますが、先日の能登半島地震を受けまして、

「日本は世界的にみると地震により大きな揺れに見舞われえる危険性が非常に高く、どの場所においても、地震による強い揺れに見舞われるおそれがあります。」

といった文言を追加して公表したいと考えております。

具体的な修正箇所は、添付(BOXよりダウンロードをお願いします)の

[調395-(4)-1]今までに公表した活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧(案).pdfと

[調395-(4)-2]長期評価による地震発生確率値の更新について(案)の

1ページ目の一番下の四角の囲みの記載になります。

こちらの文言の追加につきまして、もしご意見などございましたら、明日1月12日正午までにお知らせ願います。

期限が大変短くて申し訳ございませんが、何卒よろしくお願い申し上げます。

[chouki(2665)] 海域活断層の長期評価の当面の進め方及び情報発信について

投稿：事務局（重野）

地震調査委員会 長期評価部会 委員各位

CC:海域活断層評価手法等検討部会 委員各位

お世話になっております。文科省事務局重野です。

海域活断層の長期評価に関しては、日本海南西部（九州・中国地域北方沖）の評価結果を

2022年3月に公表した後、その東側の能登地域沖を含む海域について評価を行っていましたが、

令和6年能登半島地震が発生した際には、ご存じの通りこの地域の海域活断層の長期評価を公表できておりませんでした。

そのような中、本日、海域活断層評価手法等検討分科会が開催されましたので、その際に事務局から今後の進め方について下記の提案を行いました。

※（提案の概要）日本海南東部の評価を行った際にも、対象海域の審議が終わった際に、トレースや規模、確率、評価文等についてセットで公表していましたが、当面の対応として、まずはトレース、地震の規模、名称について及び断層の種類・信頼度、1回のずれ量、傾斜・信頼度、断層面の幅についても可能ならばという事にはなりますが、これらを先行して5月頃に公表する方針

こちらの方針については、概ねご了承いただけたと考えています。

関連して、今後進むであろう調査結果の扱いについて、本日の分科会でも意見が出ましたが、基本的にはスピード感を重視させていただきつつ、調査委員会の評価や今後の調査結果も考慮して、できるだけ後から修正にならないやり方（あるいは範囲）で公表をしたいと考えております。

また、情報発信については、これまでは評価の公表の際にまとめて行っていました。今回の能登半島地震を踏まえて、審議の内容についてはともかく、審議の状況や進め方については途中段階でも情報発信していくこともありえるのではないかと考えており、これらの情報発信の方法に関して事務局で検討していくので、一任をお願いしました。

本来は、地震調査委員会や長期評価部会の皆様にもご説明してから進めるべき点もあるかと思いますが、当面、このような形で進めたいと思いますので、ご承知おきいただければと思います。

それでは今後ともよろしく願いいたします。

以 上